

2019年度 町田市市民参加型事業評価

事業概要シート 行政評価シート

<第2会場 実施分>

1	広報事業	1
2	町田ターミナルプラザ事業	11
3	観光振興事業	19

事業の名称 広報事業

部名 政策経営部

課名 広報課

目的

－何を指して取り組むの？－

(対外) 市民が暮らしに必要な情報や市政の情報などを得ること、市民の市政への参画意識の促進
(対内) 市全体の効果的な情報発信の下支え・コーディネート

広報費(広報課)の業務の全体像

良いことも悪いことも、市民が知りたいこと、市がお知らせしなくてはならないことを伝える

～広報業務～

◆市の広報刊行物の発行に関すること

- ・広報まちだ
- ・わたしの便利帳
- ・まちだガイド(地図)

◆ホームページの管理に関すること

◆広報番組の制作に関すること

- ・まちテレ

◆メール配信サービスの管理に関すること

◆ソーシャルメディアの管理に関すること

◆ラジオ広報番組の制作に関すること

◆報道機関との連絡・調整に関すること

市の魅力などPRしたいことを選んで伝える

～広告業務～

◆シティプロモーションの推進に関する こと

3ヵ年(2018年1月～2020年12月)の
期間限定事業

◆まちだ〇ごと大作戦18-20に関する こと

- ・2019年8月1日までに相談が318件、エントリーが148件
- ・その内、112件の事業が実行委員会から判定・評価を受け、70件実施中、42件終了3ヵ年

情報発信の考え方

情報の受け手やタイミングによって、適切な広報媒体は異なることや、媒体のメリット・デメリットを考慮して、さまざまな媒体を組み合わせた情報発信をしています。適切な広報媒体を組み合わせることで、1つの媒体で情報発信するよりも大きな効果を生むことを期待しています。

また、情報発信の主体は各担当課と考え、広報課は担当課がより効果的な情報発信をできるよう、発信方法へのアドバイスを行ったり、新たな角度からの広報提案をするなどのコーディネート役を目指しています。

■情報発信する際に気を付けている点

- ・事実を伝えるだけではなく、事業の特色や他にはない点などを明示して発信。
- ・メインターゲットのみに伝えるのではなく、興味関心がない方にも裾野が広がるような発信。
- ・情報発信をして終わりではなく、発信に対する効果検証をし、結果を次の広報活動につなげる。
- ・必要な方に必要な情報が到達するために効果的と判断する場合は、市の持つ広報媒体だけにとどめず、民間の広報媒体なども積極的に活用する。

■市の情報発信媒体の3本柱

市の情報発信は基本的には以下の3つの広報媒体を軸として、提供する情報の内容や情報の受け手に併せ、ソーシャルメディアサービス(以下、SNS)、わたしの便利帳など他の広報媒体を組み合わせで行っています。

- ・町田市ホームページ
- ・広報まちだ
- ・市長記者会見・FAXリリース(メディアへの情報提供)

■課題

- ・各課の情報発信について、全体的な情報収集の把握力が弱く、効果的な広報活動の十分なコーディネートができていない。
 - ・SNSの特性を生かした情報発信ができていないため、ツールとして生かし切れていない。
- また、Twitterなどはその特性を生かすための市側の情報発信体制に課題が多い。
- ・広報活動の市民満足度の指標の立て方に課題がある。

概要
－市は何をしているの？－

広報媒体の全体像

・4年に1回行っている「広報活動」に関する意識調査の結果を踏まえ、各広報媒体ごとに利用者の年代（高齢者、子育て世代等）を意識した情報発信を行っています。

町田市はどのように情報発信をしているの？

どんな方法でどんなことをお知らせしているの？

市のイベント
や観光情報
の発信によく
使うツール
▼

情報発信媒体の3本柱

インター
ネット

みんなにお知らせしたい！市の情報のほぼ全てがわかる

担当課にて編集。広報課で全体調整

町田市ホームページ

（まちだ子育てサイト、国際版画美術館、美師池公園四季彩の杜等HPも含む）

特徴はスピード感あるお知らせが可能。情報量に制限なし。インターネットが苦手な方等は利用しづらい

市の
新聞

市のお知らせのダイジェスト版。

今知ってほしい施策や、ご高齢の方向け情報・子育て情報を厚めに掲載！詳細は町田市ホームページでもお知らせ

広報まちだ

特徴はじっくり読めて保存ができる。情報量に制限有り。紙離れも進んでいる

新聞
テレビ
ウェブ

掲載されたメディアによって、幅広い世代や幅広い地域に情報発信できる！

市長記者会見・FAXリリース（メディアへの情報提供）

特徴は記事になると、広く情報拡散が可能

インター
ネット

定期的にお知らせしたい情報やカテゴリーを絞った生活情報をプッシュ型でお知らせ！

メール配信サービス

特徴はほしい情報が選べる。プッシュ型で配信される

インター
ネット
CATV

市の施策や旬な話題を5分でお知らせ！YouTubeやCATVでいつでも観られる

広報番組まちテレ

特徴は短時間でコンパクトに伝わる。動画向けのテーマ選びが大事

FMラジオ
アプリ

平常時は市からのお知らせ、災害発生時には災害に関する大切なお知らせを発信！

ラジオ広報番組 東京町田インフォメーション

特徴は非常時に強いツール。利用者の少なさは課題

冊子

年1回・全戸に配布！保存版 市役所業務の手引き

わたしの便利帳

特徴は生活に必要な情報がいつでも探せる

地図

町田市に転入された方に配布！市の施設なども掲載された町田の市内地図

まちだガイド

特徴は地図情報以外にもバス路線図などを掲載している

インター
ネット

新鮮な話題を届けたい！選べるメニューで、随時発信！

担当課が直接情報発信

SNS (Twitter/Facebook/Instagram/LINE)

特徴は即時性。素早く正確な情報発信をするには課題多し

相互
連携

インター
ネット

関係団体HP（町田市観光コンベンション協会、まちだ〇ごと大作戦など）もリンクで情報発信

外部の関連団体の情報発信ツール

概要
一市は何を
している
の？ー

テーマや目的によって使い分けて発信

<「イベント」の情報発信>

- ・事例：まちださくらまつり（2018年度事例）
- ・ターゲット：全市民（家族連れで出かけてもらうことを意識してターゲットを設定）

町田市ホームページ



「まち☆ベジグルメ店
なび」ガイドブックや
まち☆ベジの詳細は
HPへ誘導

広報まちだ

さくらまつりのお知らせだけでは
なく、桜の名所や「まち☆ベジ」グ
ルメ店紹介を併せて掲載すること
で、市内全体を楽しみながら回遊
して頂けるような内容で構成



イベント詳細
はガイドブック
に誘導

関連イベント
へ誘導

公式ガイドブック

さくらまつりの詳細は公式ガイ
ドブックでお知らせ



SNS(インスタグラム)



関連イベントのご案内とと
もに、市内の桜の魅力を伝
えるインスタグラムの存在
をお知らせ

町田市記者会に FAXリリース



さくらまつりメイン会場と立ち
寄れるまち☆ベジグルメ店を
ピックアップしてご紹介

外郭団体主催の関連イベントへ誘導

メディア(新聞・ウェ ブ・TV等)に掲載



町田市観光コンベンション協会 ホームページ



概要
一市は何を
している
の？

<「市の施策」の情報発信>

- ・事例：町田市基本計画「まちだ未来づくりビジョン」策定
- ・ターゲット：高校生前後の若者世代

(若者世代以外の方には若者も市政に参画していることを知ってもらえるよう考慮)

町田市ホームページ



広報まちだ

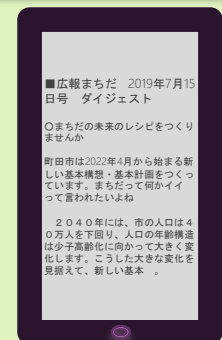


広報紙からホームページへ誘導し、より詳細な情報を提供

まちだ子育てサイト



町田市メール配信

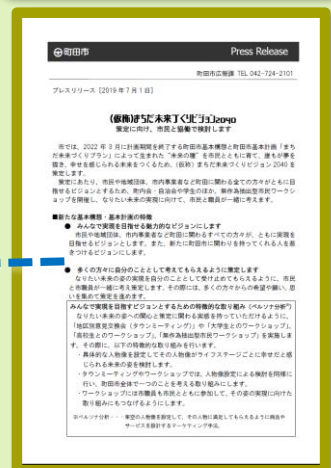


新着情報から詳細ページへ



メール配信でホームページへ誘導

町田市記者会にFAXリリース



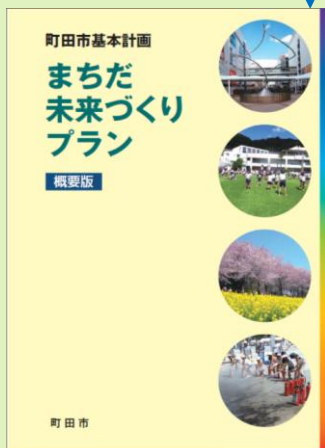
メディア（新聞・ウェブ・TV等）に掲載



記者会見では外部のメディアに向けた情報発信をします

概要
一市は何をしているの？

冊子やチラシ募集要項など



まちだ子育てサイトMSPメンバー募集への誘導

シティプロモーションの取り組み

■ まちだシティプロモーションとは

市民に対しては、居住するまちへの「愛着・誇り」を育み、町田に「住み続けたい」という意欲を醸成し、市外の人に対しては、町田への「関心・憧れ」を生み、「住んでみたい」という気持ちを高めることを目的としたPR活動を展開しています。

■ 内容

1. 子育て・暮らしに関する情報発信

将来的な人口減、若年層の比率低下が予測される中、市外からの町田市への転入促進・来訪促進を目的に、町田市の子育てや暮らしの情報発信をしています。ターゲットとなる子育てファミリー層が頻繁に利用するWebやSNSなどの媒体を活用しPRを展開しています。



PR映像「まちだで育む」(2018年)



2018.12.04

町田市が遊ぶにも暮らすにも最適な理由を50個全力で挙げるから来てほしい

WEB記事「SPOT」(2018年)



フリーペーパー「町田のまち本」
(2018年)



WEB記事「英語とICT教育」(2018年)

2. まちだ〇ごと大作戦

市制60周年の2018年からスタートした、市民をはじめ事業者や各団体の方々の新しいつながりで夢を実現する、2020年までの3年限定のシティプロモーションの取り組みです。

「やってみたい夢」の実現をオール町田体制の実行委員会で支え、市民活動や地域活動が活発化し、市内各地域が「祭り」のように盛り上がっている様子を市内外に情報発信します。



提案・アイデアは100を超え、
市内全域で作戦が実行されています

概要
一市は何を
している
の？

成果

—何ができたの?—

成果指標	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
市民満足度 ※カッコ内は目標値	78.2% (71.9%)	—% (—%)	—% (—%)	66.2% (79.0%)
広告換算費 ※カッコ内は目標値	378,139,821円 (264,000,000円)	497,045,837円 (288,000,000円)	518,991,254円 (300,000,000円)	527,742,584円 (300,000,000円)
プレスリリース件数	314件	287件	331件	366件

- ・市民満足度：「『広報活動』に関する意識調査」での「市政の情報提供方法全体の（市民）満足度」
- ・広告換算費：記者会見などで発表した案件が新聞に掲載された場合の露出効果を、広告料金をベースに算出

事業費・財源内訳

—市はどのくらいお金をかけているの?—

＜広報事業の事業費・財源内訳＞ ※人件費等は含まないため、行政評価シートの金額と一致しない
(単位：千円)

		2016年度	2017年度	2018年度
財源内訳	町田市	112,143	107,119	193,298
	国・東京都	4,138	5,204	4,660
	その他	7,336	7,542	5,847
事業費総額		123,617	119,865	203,805

※その他：広告掲載による収入

＜2018年度の主な事業費＞

- ・「広報まちだ」等企画・編集支援・印刷業務委託 31,482千円
- ・「広報まちだ」等配布委託 21,313千円
- ・まちだシティプロモーション支援業務委託 27,000千円
- ・広報番組作成・放映業務委託 6,201千円
- ・FMラジオ番組「東京町田インフォメーション」放送業務委託 5,424千円

議論のポイント①

市民及び市外の人が欲しい又は必要としている情報について

評価人チームが考える問題点①

- ・災害情報や、町田に住むとどのような良いことがあるのかなどの市民が受け取りたいと思う情報が、十分に発信されていないのではないか
- ・マスメディアから得られる情報と市から得られる情報の違い、価値を整理する必要があるのではないか

議論のポイント②

各広報媒体の使い分けについて
(媒体の特徴、掲載する情報、目的、有効性、効果的な対象者)

評価人チームが考える問題点②

- ・複数の広報媒体があるが、それらの特徴を踏まえて、掲載する情報、主に情報を届けたい対象を明確にし、発信する必要があるのではないか
- ・同じ情報であっても、タイミングや情報を得たい人の状況によって、媒体を使い分ける必要があるのではないか

議論のポイント③

情報の効果的な発信について

評価人チームが考える問題点③

- ・例えば災害が起きた場合、ホームページを先にみるべきか、Twitterを先にみるべきかなど、情報発信の優先順位を明確にする必要があるのではないか
- ・ホームページについて、欲しい情報に直感的にたどり着けないため、情報の整理が必要なのではないか

議論のポイント④

広報の効果として適切かつ効果的な成果指標について

評価人チームが考える問題点④

- ・現在の成果指標は、広報の効果を適切に測れていないのではないか

【目的】

(対外) 市民が暮らしに必要な情報や市政の情報などを得ること、市民の市政への参画意識の促進
(対内) 市全体の効果的な情報発信の下支え・コーディネート

成果指標	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
市民満足度 ※カッコ内は目標値	78.2% (71.9%)	－% (－%)	－% (－%)	66.2% (79.0%)
広告換算費 ※カッコ内は目標値	378,139,821円 (264,000,000円)	497,045,837円 (288,000,000円)	518,991,254円 (300,000,000円)	527,742,584円 (300,000,000円)
プレスリリース件数	314件	287件	331件	366件

2018年度 課別行政評価シート

部名	政策経営部	課名	広報課	歳出目名	広報費
				事業類型	c:その他型

I 組織概要

組織の使命	市民や市外の方にタイムリーで効果的な情報提供を行うことによって、暮らしに必要な情報や市政の情報などを得てもらい、市政への参画意識を促します。				
所管する事務	◆市の広報刊行物(広報まちだ・わたしの便利帳・まちだガイド)の発行に関すること ◆ホームページの管理に関すること ◆広報番組の制作に関すること ◆メール配信サービスの管理に関すること ◆ソーシャルメディアの管理に関すること ◆ラジオ広報番組の制作に関すること ◆報道機関との連絡・調整に関すること ◆シティプロモーションの推進に関すること ◆まちだ〇ごと大作戦18-20に関すること				

II 2017年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆「『広報活動』における意識調査」を定期的に実施することで、広報活動に関する市民の方々のニーズを把握し、ホームページやSNSなどを含む様々な情報媒体を通じて、効果的かつ効果的に迅速な情報発信をしていく必要があります。
◆子育て世代へ向けた情報発信を継続して行うことで、市外在住の子育て世代に対し、町田市への関心を高めていくことが課題となります。
◇「まちだ〇ごと大作戦18-20」における、大作戦チャレンジ事業の提案・アイデアの募集を促進することが課題となります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆2018年度に「『広報活動』における意識調査」を実施し、その結果に基づき、各広報手段のあり方を検討します。
◆メディアをターゲットとしたPR活動を積極的に展開し、市内外に町田市の魅力を発信していきます。
◆子育て世代向けのフリーペーパーやPR動画を作成し、町田市の魅力を市内外に向け発信します。
◇まちだ〇ごと大作戦実行委員会ホームページとSNSを連携し、より効果的に情報を発信していきます。

III 事業の成果

成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
市民満足度	%	目標	-	-	79.0	-	81.0	『『広報活動』における意識調査』での「市政の情報提供方法全体の(市民)満足度」。2015年度および2018年度実施。
		実績	-	-	66.2	-	(2022年度)	
広告換算費	円	目標	288,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000	記者会見などで発表した案件が新聞に記事掲載された場合の露出効果を、広告料金をベースに算出。
		実績	497,045,837	518,991,254	527,742,584	-	(2020年度)	
大作戦チャレンジ事業提案・アイデア件数	件	目標	-	-	60	100	300	「まちだ〇ごと大作戦18-20」にて、市民・地域団体・企業などが自ら「やってみたい夢」の実現に向けた提案・アイデアの件数
		実績	-	-	119	-	(2020年度)	

成果の説明
◆市民満足度調査を行い、市民の満足度を測りました。
◆町田の魅力やマスメディアが興味を持ちそうな情報を記者会見やプレスリリースを通して積極的に提供した結果、新聞の多摩地域面以外でも取り上げられ、広告換算費の増加につながりました。
◆シティプロモーションの取り組みとして、フリーペーパーの配布・PR動画の公開・イベント開催などを通じて近隣市在住の子育て世代に対し、町田市での子育てをイメージできるような情報を積極的に発信しました。
◆まちだ〇ごと大作戦18-20では市民・地域団体・企業などから119件の大作戦チャレンジ事業の提案・アイデアを受けました。

IV 財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目		2016年度	2017年度	2018年度	差額	勘定科目		2016年度	2017年度	2018年度	差額
			A	B	B-A				A	B	B-A
行政費用	人件費	108,445	133,676	147,779	14,103	行政収入	地方税	0	0	0	0
	うち時間外勤務手当	9,828	8,527	9,987	1,460		保険料	0	0	0	0
	物件費	123,231	118,795	129,400	10,605		国庫支出金	2,759	2,572	2,568	△ 4
	うち委託料	121,110	117,478	126,317	8,839		都支出金	18,109	3,304	52,085	48,781
	維持補修費	0	0	12,452	12,452		分担金及負担金	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0		使用料及手数料	0	0	0	0
	補助費等	386	1,070	29,728	28,658		その他	7,336	7,542	5,847	△ 1,695
	減価償却費	803	803	1,022	219		行政収入 小計(a)	28,204	13,418	60,500	47,082
	不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 224,569	△ 268,438	△ 295,305	△ 26,867
	賞与・退職手当引当金繰入額	19,908	27,512	35,424	7,912		金融収支差額(d)	0	0	0	0
	行政費用 小計(b)	252,773	281,856	355,805	73,949		通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 224,569	△ 268,438	△ 295,305	△ 26,867
	特別費用(g)	0	0	12	12		特別収入 小計(f)	0	2,204	0	△ 2,204
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	2,204	△ 12	△ 2,216	当期収支差額(e)+(h)		△ 224,569	△ 266,234	△ 295,317	△ 29,083

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	補助費等	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	まちだ〇ごと大作戦実行委員会負担金 29,500千円 講師謝礼 136千円 事業協力謝礼 50千円 日本広報協会負担金 42千円	決算額の主な内訳	街路灯修繕費 11,232千円 尾根緑道公共トイレ洋式化工事 1,220千円
主な増減理由	まちだ〇ごと大作戦の提案・アイデアの増加や情報発信の充実に伴い、負担金が28,500千円増加。 まちだ〇ごと大作戦の会議開催に係る講師謝礼が136千円増加。 広報まちだ1月1日号の対談に係る謝礼として22千円増加。	主な増減理由	まちだ〇ごと大作戦協働・協賛事業に係るペDESTリアンデッキ下の街路灯修繕や尾根緑道公共トイレ洋式化に伴い12,452千円増加。
勘定科目	物件費	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	「広報まちだ」等企画・編集支援・印刷業務委託料 31,482千円 まちだシティプロモーション支援業務委託料 27,000千円 広報まちだ等配布委託 21,313千円 まちだ〇ごと大作戦18-20事業推進・運営支援業務委託 5,281千円	決算額の主な内訳	市町村総合交付金 49,990千円 東京都地域生活支援事業費等補助金 1,282千円 ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金 813千円
主な増減理由	まちだ〇ごと大作戦の事業に係る芹ヶ谷公園桜植栽空間創出業務委託となす原遺跡出土品(土器・耳飾り)複製製作他業務委託に伴い9,331千円増加。 「広報活動」に関する意識調査業務委託により1,652千円増加。	主な増減理由	まちだ〇ごと大作戦とシティプロモーション推進事業に係る委託料が地域特選事業枠交付対象事業となったことにより市町村総合交付金が49,320千円増加。 多摩の魅力発信支援補助金が廃止になり1,350千円減少。

③貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A	勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A
流動資産	未収金			0	0	0	流動負債			6,544	8,014	1,470	
	不納欠損引当金			0	0	0	還付未済金			0	0	0	
	その他の流動資産			0	0	0	地方債			0	0	0	
固定資産	事業用資産	有形固定資産			0	0	0	賞与引当金			6,544	8,014	1,470
		土地			0	0	0	その他の流動負債			0	0	0
		建物(取得価額)			0	0	0	固定負債			94,925	112,870	17,945
		建物減価償却累計額			0	0	0	地方債			0	0	0
		工作物(取得価額)			0	0	0	退職手当引当金			94,925	112,870	17,945
		工作物減価償却累計額			0	0	0	その他の固定負債			0	0	0
	無形固定資産			2,204	1,973	△ 231	繰延収益			0	0	0	
	インフラ資産	有形固定資産			0	0	0	長期前受金			0	0	0
		土地			0	0	0	負債の部合計			101,469	120,884	19,415
		工作物(取得価額)			0	0	0	純資産			△ 76,855	△ 97,304	△ 20,449
		工作物減価償却累計額			0	0	0						
	無形固定資産			0	0	0							
	建設仮勘定			0	0	0							
その他の固定資産			22,410	21,607	△ 803	純資産の部合計			△ 76,855	△ 97,304	△ 20,449		
資産の部合計				24,614	23,580	△ 1,034	負債及び純資産の部合計				24,614	23,580	△ 1,034

④貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	無形固定資産(事業用資産)	勘定科目	その他の固定資産	勘定科目	特になし
決算額の主な内訳	「いいことふくらむまちだ」ロゴマーク商標権 1,973千円	決算額の主な内訳	(株)多摩テレビの株券 20,000千円 イベントスタジオ備品 1,607千円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	減価償却等により231千円減少。	主な増減理由	イベントスタジオ備品の減価償却により803千円減少。	主な増減理由	

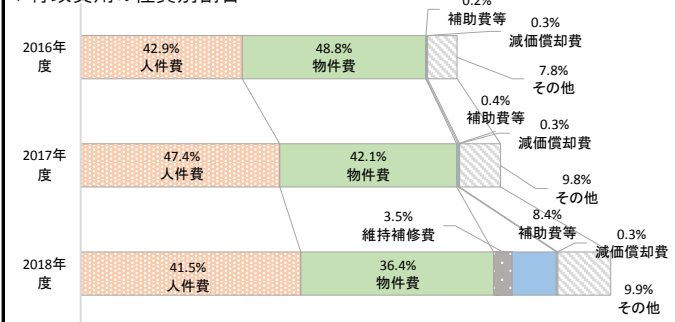
⑤キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	60,500	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	335,368	社会資本整備等投資活動支出	32,225	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 274,868	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 32,225	財務活動収支差額(c)	0
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 307,093
				一般財源充当調整額	307,093

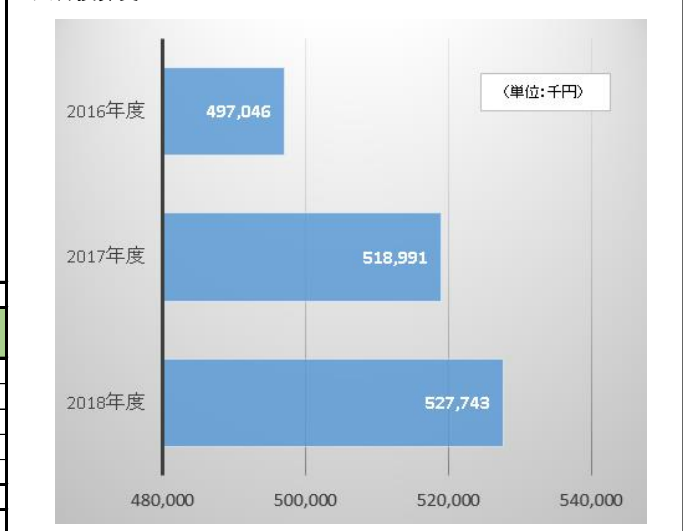
V.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



VI.個別分析

▽広告換算費



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	嘱託	臨時	2018 合計	2017 合計
広報紙・誌発行業務	5.2			3.6	0.2	9.0	8.6
情報提供(パブリシティ)業務	2.3			0.2		2.5	1.8
シティプロモーション業務	5.6					5.6	5.3
その他業務	1.9			0.2	0.2	2.3	2.6
2018年度 歳出目 合計	15.0	0.0	0.0	4.0	0.4	19.4	18.3
2017年度 歳出目 合計	14.0	0.0	0.0	4.0	0.3	18.3	

VII.総括

①成果および財務の分析

- ◆町田の魅力やマスメディアが興味を持ちそうな情報を積極的に提供した結果、新聞の多摩地域面以外でも取り上げられ、広告換算費の増加につながりました。
- ◆まちだシティプロモーション映像「まちだで育む」を作成し、町田での子育てがより具体的にイメージできる情報発信を行いました。
- ◆「まちだ〇ごと大作戦18-20」は、開始から1年が経過し、大作戦チャレンジ事業の提案件数が目標値の60件を大きく上回る119件となり、その増加と共に歳出が増えています。

②2018年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◇子育て世代へ向けた情報発信を継続して行うことで、市外在住の子育て世代に対し、町田市への関心を高めていくことが課題となります。
- ◇2018年度に行った「広報活動」に関する意識調査をもとに、市民ニーズに合わせた広報活動を行うことが課題となります。
- ◇市民満足度を4年後に目標と定めた「81%」まで上げるための、的確で効果的な広報活動が課題となります。
- ◆「まちだ〇ごと大作戦18-20」は2年目を迎え、今後更なる推進のために大作戦チャレンジ事業の提案・アイデアの募集を促進することが課題となります。

③課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

- ◇メディアをターゲットとしたPR活動を積極的に展開し、市内外に町田市の魅力を発信していきます。
- ◇引き続き、市近隣のファミリー層に向けて、町田市での暮らしや子育てをイメージできるような情報を発信します。
- ◇「広報活動」に関する意識調査結果を踏まえ、ニーズに合わせた広報媒体の選択や、各媒体の使いやすさの向上に取り組めます。
- ◆より多くの方が「まちだ〇ごと大作戦18-20」に参画・参加し、市民の愛着と誇り、市外からの関心と憧れを高めるような情報発信の拡充に取り組めます。

事業の名称

町田ターミナルプラザ事業

部名

経済観光部

課名

産業政策課

目的

―何を目標として取り組むの?―

- ・バスターミナル内の安全な利用環境の提供及び交通利便の向上
- ・中心市街地の振興及び活性化の促進

- ・ターミナルプラザ（JR町田駅ターミナル口、商業ビルmina横）の管理運営
- ・1階バスターミナル、市所有の2階店舗区画、市民広場の管理、運営
- ・市民広場における、音楽ライブなど様々なイベントの開催
- ・より一層の賑わい創出及び集客のための、市民広場の活用方法の検討、実施

主な取組み(4業務)

バスターミナル 運営管理業務	路線バス事業者及び観光バス事業者との連絡調整及びバスターミナルの使用手続きを行います。
市民広場 運営管理業務	市民広場の貸出しや使用者との調整を行います。
施設維持管理 業務	建物を市と共同所有している東急株式会社と、施設の修繕や改修を行います。
店舗管理業務	店舗区画の使用に関する問い合わせ対応や、契約手続き及び営業中店舗との連絡調整を行います。

施設概要

名称	町田ターミナルプラザ
所在	町田市原町田三丁目1番4号
使用開始年	1983年
構造	鉄筋鉄骨造地下2階地上8階
延床面積	18,534㎡
設置者	・町田市(1階バスターミナル、 2階駐輪場・市民広場) ・共同所有者(3階から6階駐 車場、商業棟)



概要

―市は何をしているの?―

町田ターミナルプラザ市民広場

週末を中心に、音楽ライブなど、様々なイベントを開催しています。

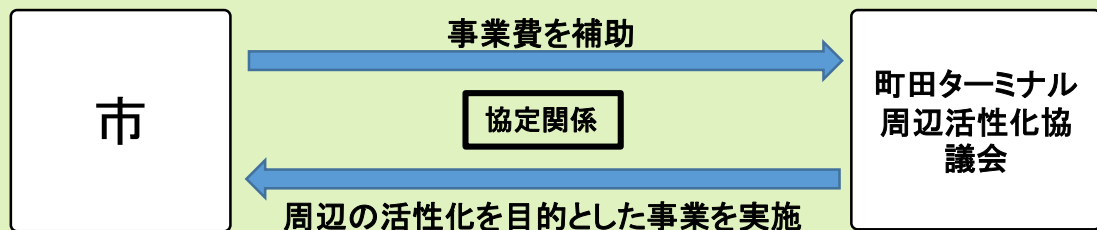
芝生広場 「ちびヒロ」	対象	未就学児
	時間 利用	午前10時から午後5時まで
	内容	子どもが裸足で自由に遊べる芝生広場「ちびヒロ」を設置しています。おもちゃを用意しています。

お絵かき 「おおきなかべ」	対象	未就学児
	時間 利用	午前10時から午後5時まで
	内容	壁いっぱいにお絵かきできる「おおきなかべ」を設置しています。また、書いて消せるペンや磁石でくっつくおもちゃを用意しています。

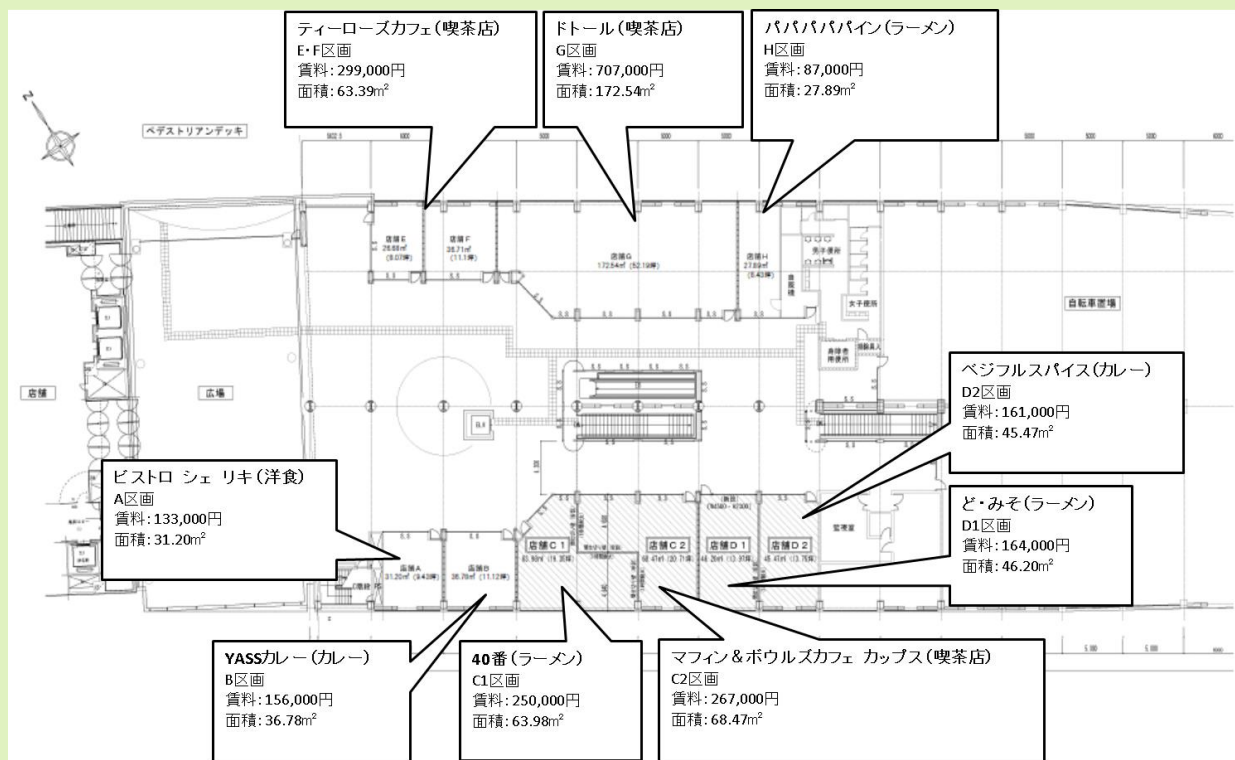
町田ターミナルプラザ市民広場

町田ターミナルプラザ 飲食店舗街	対象	どなたでも
	時間利用	店舗開店時間中（店舗によって営業時間・定休日は異なります）
	内容	賃料・光熱水費の請求を行うほか、店舗区画の使用に関する問い合わせ対応や、契約手続き及び営業中店舗との連絡調整を行います。

市とターミナル周辺活性化協議会との関係(図)



店舗マップ



概要

一市は何をしているの？

- ・2018年の7月から3月まで、月1回、市民広場で「まちなかシネマ」を実施し、延べ約900名を集客
- ・4月から「ちびヒロ（子どもが裸足で自由に遊べる芝生広場）」を常設化

成果指標	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
観光バス利用台数(目標)	3,956台 (一台)	3,392台 (一台)	3,632台 (一台)	3,082台 (3,500台)
市民広場利用件数(目標)	147件 (一件)	113件 (165件)	115件 (165件)	119件 (165件)
歩行者通行	一人	6,984人	6,495人	9,022人
店舗売上	161,289千円	163,096千円	174,595千円	217,265千円

※市民広場利用件数…市民広場がイベント等で使用された件数

市民広場の利用実績

主催者	イベント	回数	使用料	概要
ターミナル周辺 活性化協議会	町田ミュージックパーク	52	0	町田で活動する若手ミュージシャンを中心に開催する音楽ライブ
	その他イベント	7	0	町田大道芸、夏祭り、イルミネーション点灯式等
	小計	59	0	
市関連	官民協働パトロール	2	0	悪質な客引き等に指導を行う官民連携イベント
	まちなかシネマ	9	0	親子でゆっくりと映画を見るイベント
	その他	1	0	社会を明るくする運動
商店街等	まちだハロウィン等	4	0	ハロウィンイベント、とっておきの音楽祭、フェスタ町田
その他	試飲販売会(生活クラブ)	22	38,925	
	フリーマーケット	2	8,800	
	Brand New Vibe ライブ	3	135,000	
	その他	17	230,350	フラメンコ発表会、ゼルビアパブリックビューイング、携帯電話販促 など
小計		60	413,075	
神奈中	電光案内表示機設置	-	23,496	通路使用料
合計		119	436,571	

町田ターミナルプラザ・バスターミナルにおける観光バスの会社別利用台数(利用台数100台以上)

No	会社名	2014		2015		2016		2017		2018		2019 8月末現在	
		台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比率
1	クラブツーリズム	2,585	-582	2,212	-373	1,934	-278	2,113	179	1,792	-321	832	46.4%
2	阪急交通社	222	62	202	-20	186	-16	192	6	245	53	115	46.9%
3	オリオンツアー	274	115	251	-23	143	-108	203	60	230	27	0	0.0%
4	読売旅行	264	21	211	-53	234	23	203	-31	185	-18	101	54.6%
5	小田急トラベル	102	21	106	4	114	8	106	-8	116	10	37	31.9%
6	産経新聞開発株式会社	171	-61	147	-24	141	-6	137	-4	110	-27	67	60.9%
7	トラベルイン	0	0	126	126	101	-25	118	17	104	-14	0	0.0%
8	その他(2018年度45社)	714	549	701	-13	539	-162	560	21	300	-260	332	110.7%
	合計	4,332	125	3,956	-376	3,392	-564	3,632	240	3,082	-550	1,484	48.2%

成果
—何ができたの?—

事業費・財源内訳

一市はどのくらいお金をかけているの？

<町田ターミナルプラザ事業費・財源内訳>

(単位：円)

		2016年度	2017年度	2018年度
財源内訳	町田市	43,844,388	80,926,047	58,715,996
	国・東京都	0	0	0
	その他	72,068,165	75,650,767	80,433,664
	事業費総額	115,912,553	156,576,814	139,149,660

事業イメージ図

ちびひろ運営



まちなかシネマ運営



店舗管理

ドトール



パパパパパイン



ティーローズカフェ



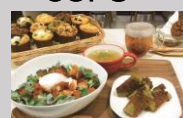
YASSカレー



ど・みそ



CUPS



バスターミナル運営



ベジフルスパイス



ビストロ・シェ・リキ



40番



議論のポイント①

町田ターミナルプラザの効果的な活用・活性化について

評価人チームが考える問題点①

・町田ターミナルプラザの立地を活かした活用方法を検討する必要があるのではないか

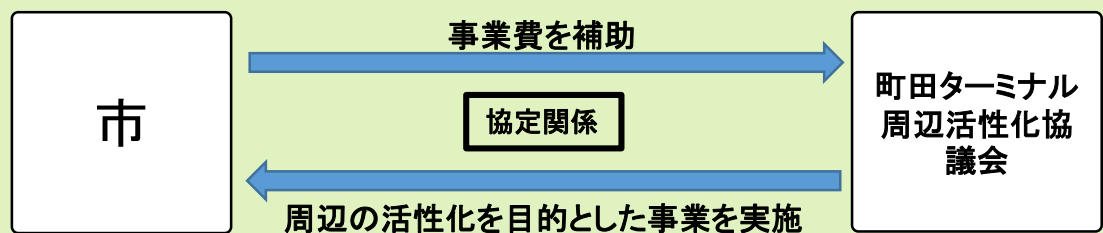
成果指標	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
市民広場利用件数(目標)	147件(一件)	113件(165件)	115件(165件)	119件(165件)
歩行者通行	一人	6,984人	6,495人	9,022人

議論のポイント②

市が町田ターミナルプラザを運営する意義について

評価人チームが考える問題点②

・必ずしも市が町田ターミナルプラザを運営する必要があるのではないか
・今後も市が運営していくのであれば、その意義を、市民に説明していく必要があるのではないか



議論のポイント③

町田ターミナルプラザの今後のあり方及び必要性について

評価人チームが考える問題点③

・さらなる活性化のためには、町田ターミナルプラザのメインターゲットを明確にする必要があるのではないか
・民間企業等が運営するにしても、市と関係者との業務範囲や関係性を整理する必要があるのではないか

2018年度 事業別行政評価シート

部名	経済観光部	主管課名	産業政策課
歳出目名	商工業振興費	特定事業名	町田ターミナルプラザ事業
事業類型	1.施設運営受益者負担型		

I.事業概要

事業目的	町田ターミナルプラザは、町田市と民間が区分所有している建物であり、1階は観光バスと路線バスが乗り入れるバスターミナル、2階は飲食店舗及び市民広場となっています。安全で便利な利用環境を提供し、買い物やイベントを楽しめる賑わい空間づくりを行うことで、中心市街地の活性化を促進します。						
基本情報	根拠法令等						
		2016年度	2017年度	2018年度	施設の名称	町田ターミナルプラザ	
	利用料金収入 (単位:千円)	27,001	29,428	31,251	建設年月日	1983年10月29日	
	受益者負担比率	18.5%	18.4%	20.6%		2016年度	2017年度
					有形固定資産減価償却率	84.2%	86.0%
						2018年度	86.7%

II.2017年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆観光バス利用台数は2016年度と比較して増加しているものの、長期的に減少傾向にあります。安定的に事業を継続できるよう収支のバランスを取るための工夫が必要です。
◇施設が建築から35年経過し、多くの設備が更新時期を迎えています。
◆より一層の賑わいをつくるため、市民広場を更に活用していく必要があります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆観光バスの受入を続けるため、引き続き経費の削減を検討するとともに、受入台数減少の要因について調査します。
◇施設の老朽化に対応するため、長期修繕計画に基づき、2018年度は排水管更新工事、2019年度は泡消化設備更新工事等を予定しています。
◆2018年4月から「ちびヒロ」を常設化し、7月から「まちなかシネマ」の月1回定期開催を行い、賑わいづくりを行うとともに市民広場の利用件数の増加を図ります。

III.事業の成果

成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
観光バス利用台数	台	目標	-	-	3,500	3,560	4,900	観光バス発着時間(6:00から8:50)にバスターミナルを利用した観光バスの台数
		実績	3,392	3,632	3,082		(2020年度)	
市民広場利用件数	件	目標	165	165	165	165	165	市民広場がイベント等で使用された件数
		実績	113	115	119		(2020年度)	

成果の説明 ◆観光バス利用台数は、2017年度と比較し550台(15.1%)減少しました。
◇長期修繕計画に基づき排水管更新工事を実施しました。
◆市民広場で4月から「ちびヒロ」を常設化すると共に、7月から「まちなかシネマ」を月1回定期開催しました。
◆市民広場の占用利用件数は、土日祝日で83件(2017年度75件)、平日で36件(2017年度40件)となり、土日祝日の利用件数が増加しました。

IV.財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	差額	勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	差額
		A	B	B-A			A	B	B-A
人件費	4,366	5,965	8,104	2,139	地方税	0	0	0	0
物件費	24,674	25,373	23,832	△ 1,541	国庫支出金	0	0	0	0
うち委託料	8,887	7,009	7,050	41	都支出金	0	0	0	0
維持補修費	21,893	32,749	22,939	△ 9,810	分担金及負担金	0	0	0	0
扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	5,344	5,426	5,058	△ 368
補助費等	67,415	65,546	65,408	△ 138	その他	64,646	68,699	74,649	5,950
減価償却費	27,740	28,318	28,318	0	行政収入 小計(a)	69,990	74,125	79,707	5,582
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 76,306	△ 85,696	△ 71,868	13,828
賞与・退職手当引当金繰入額	208	1,870	2,974	1,104	金融収支差額(d)	0	0	0	0
行政費用 小計(b)	146,296	159,821	151,575	△ 8,246	通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 76,306	△ 85,696	△ 71,868	13,828
特別費用(g)	0	0	0	0	特別収入 小計(f)	2,514	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	2,514	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	△ 73,792	△ 85,696	△ 71,868	13,828

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	使用料及手数料
決算額の主な内訳	光熱水費 16,061千円 バスターミナル観光バス等発車管理業務委託 4,465千円 まちなかシネマ業務委託 2,266千円など	決算額の主な内訳	バスターミナル使用料 4,622千円 ターミナル使用料(市民広場) 436千円
主な増減理由	照明のLED化により光熱水費が914千円減少。市民広場整備に係る委託料及び消耗品費が990千円減少。まちなかシネマ業務委託料が1,210千円増加。	主な増減理由	ターミナル使用料(市民広場)が239千円減少。 観光バス利用台数が減少したことにより、バスターミナル使用料が129千円の減少。
勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	ターミナル棟修繕工事負担金 22,939千円	決算額の主な内訳	ターミナルプラザ土地賃料(駐車場部分) 34,800千円 ターミナルプラザ店舗賃付料 28,223千円 光熱水費使用料 9,884千円 など
主な増減理由	長期修繕計画に基づく修繕が少額であったため、ターミナル棟修繕工事負担金が1,896千円減少。2017年度に行ったエスカレーター改修工事などが終了したため、7,914千円減少。	主な増減理由	ターミナルプラザ店舗賃付料が、4,195千円増加。2018年1月、2019年1月に新規出店があったため、光熱水費使用料が1,259千円増加。

③単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、各年度の「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
1日あたりコスト	日	2018	365	415,274	△ 22,592	維持補修費、物件費が減少したことにより、1日あたりのコストが22,592円減少しました。
		2017	365	437,866	37,055	
		2016	365	400,811		
		2018				
		2017				
		2016				
		2018				
		2017				
		2016				

④貸借対照表

(単位:千円)

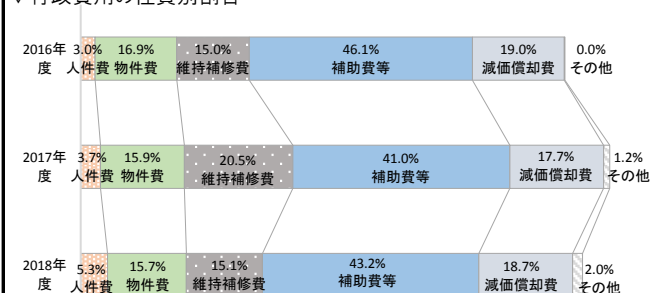
勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A	勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A
流動資産	未収金			868	1,758	890	流動負債				340	486	146
	不納欠損引当金			0	0	0		還付未済金			0	0	0
	その他の流動資産			0	0	0		地方債			0	0	0
固定資産	有形固定資産			1,457,500	1,455,033	△ 2,467	賞与引当金				340	486	146
	土地			1,306,521	1,306,521	0		その他の流動負債			0	0	0
	建物(取得価額)			1,094,712	1,120,563	25,851		固定負債			4,931	6,844	1,913
	建物減価償却累計額			△ 943,733	△ 972,051	△ 28,318	地方債				0	0	0
	工作物(取得価額)			0	0	0		退職手当引当金			4,931	6,844	1,913
	工作物減価償却累計額			0	0	0		その他の固定負債			0	0	0
	無形固定資産			0	0	0	繰延収益				0	0	0
	有形固定資産			0	0	0	長期前受金				0	0	0
	土地			0	0	0		負債の部合計			5,271	7,330	2,059
	工作物(取得価額)			0	0	0	純資産				1,453,097	1,449,461	△ 3,636
	工作物減価償却累計額			0	0	0							
インフラ資産	無形固定資産			0	0	0	純資産の部合計				1,453,097	1,449,461	△ 3,636
	建設仮勘定			0	0	0	負債及び純資産の部合計				1,458,368	1,456,791	△ 1,577
	その他の固定資産			0	0	0							
	資産の部合計			1,458,368	1,456,791	△ 1,577							

⑤貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	土地(事業用資産)	勘定科目	建物(事業用資産)	勘定科目	特になし
決算額の主な内訳	原町田3丁目1020-6 3,909.34㎡ 1,290,082千円 原町田4丁目889-9 28.40㎡ 16,439千円	決算額の主な内訳	町田ターミナルプラザ ターミナル棟1・2階 6,548.79㎡ 1,120,563千円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	増減なし	主な増減理由	排水設備を更新したことにより、25,851千円増加。	主な増減理由	

V.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



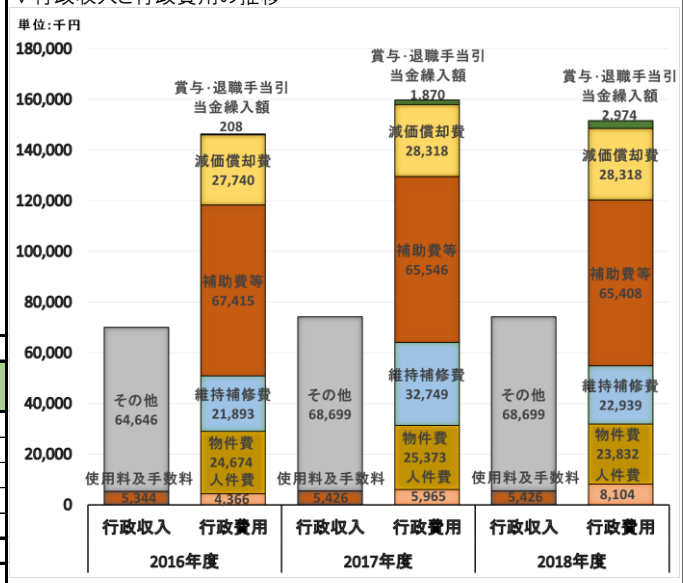
▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	嘱託	臨時	2018 合計	2017 合計
町田ターミナルプラザ管理事務	0.3					0.3	0.3
町田ターミナルプラザ管理負担事務	0.3					0.3	0.3
						0.0	0.0
						0.0	0.0
						0.0	0.0
2018年度 特定事業 合計	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
2017年度 特定事業 合計	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	

VI.個別分析

▽行政収入と行政費用の推移



VII.総括

①成果および財務の分析

- ◆2018年9月に空き店舗となったC1区画の募集を行い、1月に新規出店者との賃貸借契約を締結し、店舗貸付収入の増加に結び付けました。
- ◆7月から3月まで市民広場で「まちなかシネマ」を実施し、延べ約900名の集客につなげました。
- ◆市民広場の利用件数は2017年度と比較して増加しているものの、市民広場全体の占有利用件数が減ったため、ターミナル使用料(市民広場)は2017年度と比較して239千円の減少となっています。

②2018年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◆観光バス利用台数は、月平均100台以上の利用のある大口顧客の利用台数減少などにより、2017年度と比較して550台減少しています。安定的にバスターミナル運営を継続できるよう、バスターミナル利用料金収入を増加させるための工夫が必要です。
- ◆町田ターミナルプラザへの集客を目的として、市民広場をさらに活用していく必要があります。
- ◇施設が建築から36年経過し、老朽化が進んでいるため、長期修繕計画を更新すると共に、計画的に修繕を行う必要があります。

③課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

- ◆長距離路線バスの乗り入れを開始することにより、バスターミナル利用料金収入を確保します。
- ◆集客力の高い市民広場でのイベントについて検討し、更なる活用を図ります。
- ◆7月から3月までの期間に「まちなかシネマ」を実施したところ、気温の暖かい月に来場者が多く集まったことを踏まえ、2019年度は4月から11月までの期間毎月実施し、町田ターミナルプラザへの集客を図ります。
- ◇施設の老朽化に対応するため、長期修繕計画に基づき、設備更新工事等を実施します。

事業の名称 観光振興事業

部名 経済観光部

課名 観光まちづくり課

目的

―何を指して取組むの?―

- ・観光を切り口に来訪者と市民の交流を拡大し、さらに観光による消費拡大で経済活性化を図ることで、まちの活力の維持・向上を目指す。
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした外国人観光客の受け入れ態勢の整備を目指す。

- ◆町田市観光まちづくり基本方針に基づく基本施策を展開していくこと
 - 基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ
 - 町田ならではの体験ができるイベントの開催（例：時代祭り）
 - フットパス※の振興に関すること など
 - 基本施策2 観光まちづくりの担い手と態勢づくり
 - 市民と行政が協働で行うイベントの開催（例：さくらまつり）
 - 観光まちづくりの担い手育成を目的としたシンポジウムの開催 など
 - 基本施策3 地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大
 - 地域資源のブランド形成（町田薬師池公園四季彩の杜のブランド化）
 - 町田市小野路宿里山交流館に関すること など

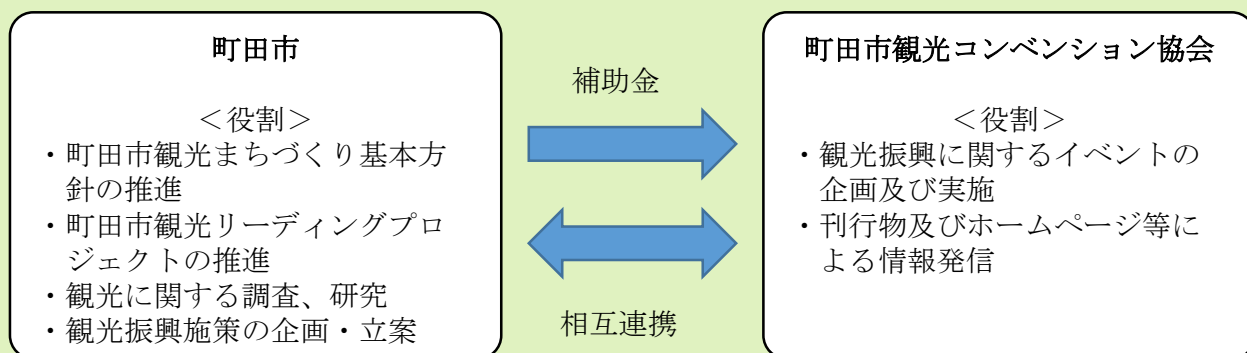
※森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと

- ◆外国人観光客等の受入れの推進に関すること
 - 観光情報の発信
 - Wi-Fiの整備

概要

―市は何をしているの?―

観光まちづくり推進体制



①観光まちづくりの推進

イベント等の開催状況

<町田市関連イベント>

	名称	町田さくらまつり
	内容	さくらの開花時期に、市内3ヶ所の会場(恩田川会場、芹ヶ谷公園会場、尾根緑道会場)で出店・イベントを実施し、多くの市民・来訪客が町田の桜を「観る・巡る・集う・食べる」等個人のライフスタイルにあわせて楽しめるイベントを実施する。
	開催時期	3月末～4月上旬
	ターゲット	市民及び市外からの来訪者
	実施手法	・市民と行政の協働による実行委員会(町田市より負担金を支出) ・事務局:町田市、町田市コンベンション協会
	周知手法	町田市HP、観光協会HP、広報、チラシ、ポスター、SNS 他

	名称	町田時代祭り
	内容	かつて町田市域で活躍した鎌倉武士や農兵隊を再現した時代行列を行う。また、砲術、古武術、居合抜刀、流鏑馬の演舞を披露し、市民・来訪者が地域の歴史や文化を感じ、楽しめるイベントを実施する。
	開催時期	10月末
	ターゲット	市民及び市外からの来訪者
	実施手法	・市民団体による実行委員会(町田市から補助金支出) ・事務局:町田市観光コンベンション協会
	周知手法	町田市HP、観光協会HP、広報、チラシ、ポスター、SNS 他

<観光コンベンション協会が実施した主なイベント>

- ・長野県小谷村との交流「雪のプレゼント」(2019年1月27日実施)
ぽっぽ町田で雪遊び体験の実施、特産品や野菜等の販売を行い、市民へ小谷村の魅力を発信した。
- ・国立市との交流「ヒマワリの種とリス交流事業」(2018年8月24日実施)
国立市のヒマワリの種を収集し、町田リス園でリスとの触れ合いを楽しむ。

<その他観光コンベンション協会ガイドウォーク等イベント一覧>

- ・武相荘&白洲正子の三輪ガイド
- ・古街道ウォークツアー
- ・紅葉祭り薬師池公園ガイドツアー
- ・初七福神と初骨董市ガイドウォーク
- ・玉川学園夏休み小学生理科教室
- ・大地沢青少年センターでのブルーベリー狩り&ジャム体験づくり
- ・菅原神社での巫女さん体験
- ・ブルーベリー狩り&ジャム体験づくり
- ・小野路の秋野菜収穫体験
- ・初めての書道体験 高ヶ坂熊野神社

概要

一市は何をしているの？

地域資源のブランド形成

＜町田薬師池公園四季彩の杜のブランド化＞

町田薬師池公園四季彩の杜には薬師池、ぼたん園、えびね苑、ダリア園、リス園、ふるさと農具館、七国山ファーマーズセンターの施設を含む、豊かな自然環境が存在しています。町田市ではこの町田薬師池公園四季彩の杜の魅力をさらに高めるため、ブランド化戦略を進めています。

（１）ロゴマークの作成

四季彩の杜のブランド形成をしていく手段の一つとして、PR活動におけるデザインに統一感を持たせ、四季彩の杜の知名度を高めるとともに良好なイメージを印象づけるため、四季彩の杜のロゴマークを作成しました。

※ロゴマークにより印象付けたい四季彩の杜のイメージ

- ・四季の変化に富む里山環境
- ・地域の日常を歩く楽しみ
- ・文化・歴史を活かした上質で豊かな印象
- ・ゆったりと滞在できる居心地の良さ



ロゴマーク

（２）プロモーションサイトの作成

町田薬師池公園四季彩の杜の効果的な情報発信を行うために、プロモーションサイトを作成しました。

※プロモーションサイトを作成することにより見込まれる効果

- ・四季彩の杜のコンセプトや概要を伝えることができる。
- ・四季彩の杜の各施設の情報を一体的に発信することができる。
- ・プロモーションサイトを見た方の来訪意欲を向上させる。



プロモーションサイトトップ

概要

一市は何をしているの？

成果

一何ができたの？

成果指標	2016年度	2017年度	2018年度
観光入込客 ※カッコ内は目標値	501万人 (一万人)	463万人 (515万人)	420万人 (529万人)
薬師池公園四季彩の杜来園者数	659千人	613千人	601千人
町田さくらまつり来場者数 ※カッコ内は目標値	54千人 (一千人)	60千人 (一千人)	117千人 (120千人)

事業費・財源内訳

一市はどのくらいお金をかけているの？

＜観光振興事業の事業費・財源内訳＞※人件費等は含まないため、行政評価シートの金額と一致しない
(単位：千円)

	2016年度	2017年度	2018年度
財源内訳			
町田市	80,908	86,455	84,702
国・東京都	0	0	0
その他	3,556	3,962	1,674
事業費総額	84,464	90,417	86,376

＜2018年度の主な事業費＞

- ・町田市観光コンベンション協会への補助金 42,000千円
- ・町田さくらまつり負担金 9,000千円
- ・町田薬師池公園四季彩の杜ブランドマネジメント推進支援業務委託 4,860千円
- ・町田時代祭り補助金 1,000千円

②外国人観光客受入れのための取組み

観光情報の発信状況

ツール	発信内容	言語	開始・作成時期
Discover Next Tokyo (Facebookページ)	市内観光情報(7回/年)	中国語(繁)	2018年3月アカウント開設
メトロポリス電子版	時代祭り	英語	2018年度掲載
ツーリズムガイドマップ	薬師池周辺、小野路周辺、町田駅周辺のウォーキングマップ	日英併記	2016年度作成、2018年度改訂
町田駅周辺まちなか案内マップ	町田駅周辺の観光案内	英語・中国語(簡・繁)・韓国語	2017年度作成
まちだグルメガイドマップ	町田駅周辺の飲食店案内	英語・中国語(簡)	2017年度作成
フットパスマップ	町田駅周辺のフットパスコース	英語	2017年度作成
相原エリアマップ	相原地区の観光案内	英語	2018年度作成
Guidoor(webサイト)	町田市内の観光スポット	日本語・英語・中国語(簡・繁)・韓国語・仏語・スペイン語・インドネシア語・タイ語	2019年度から掲載

※各マップは、観光まちづくり課、町田市観光コンベンション協会、東京観光情報センター、市内ホテル、掲載施設・観光施設等に設置

概要

一市は何をしているの？

Wi-Fiの整備

・来訪者が、スマートフォン等を利用して、市内の観光情報や各種情報を手軽に取得できるよう、町田駅周辺で、無料公衆無線LANサービス「Machida Free Wi-Fi」を市内10か所で提供しています。

	アクセスポイント	設置年度	設置手法
①	町田駅北口	2016年度	町田市設置
②	町田バスセンター(小田急町田駅西口)	2016年度	町田市設置
③	町田市庁舎前	2017年度	町田市設置
④	町田ターミナルプラザ	2017年度	町田市設置
⑤	まちの案内所 町田ツーリストギャラリー	2017年度	町田市設置
⑥	町田市立国際版画美術館	2017年度	町田市設置
⑦	町田リス園	2017年度	管理者設置
⑧	サウスフロントタワーCielo	2017年度	管理者設置(町田市補助)
⑨	町田市民病院	2017年度	町田市負担
⑩	まちだ名産品の店 心和(ここわ)	2016年度	町田市負担



周知用チラシ



周知用ステッカー

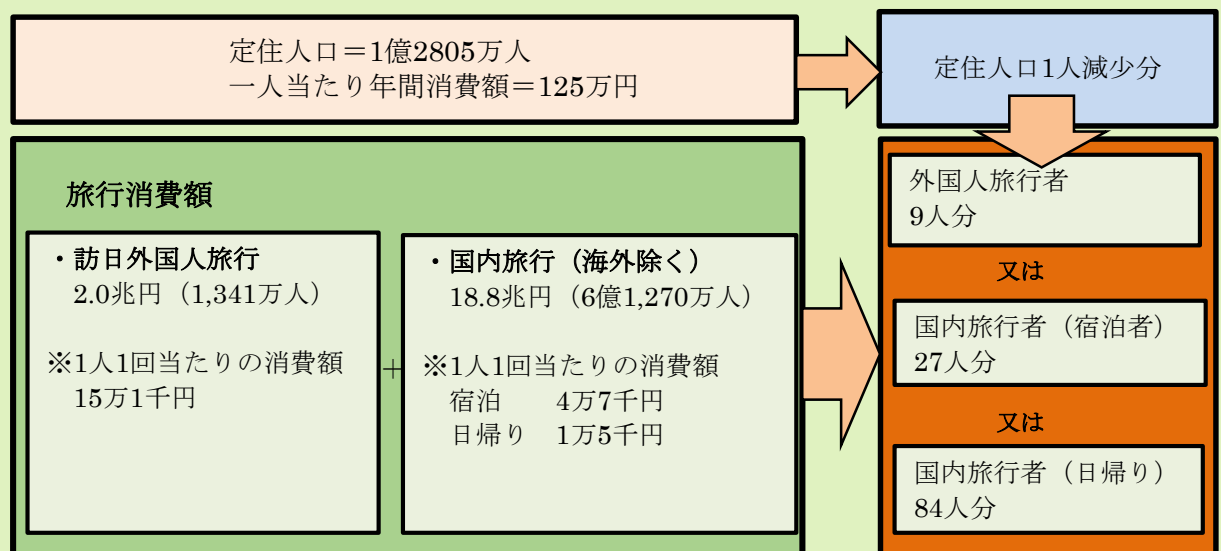
<参考>訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと(複数回答可)

訪日外国人旅行者の受入環境に関するアンケート調査（観光庁）

	2014年度	2016年度	2018年度
無料公衆無線LAN環境	46.6%	28.7%	18.7%
多言語表示の少なさ・わかりにくさ(観光案内版・地図等)	20.2%	23.6%	16.4%
施設等のスタッフとコミュニケーションがとれない	35.7%	32.9%	20.6%
クレジットカード/デビットカードの利用	10.8%	13.6%	10.0%
両替	10.2%	16.8%	6.5%
公共交通の利用	14.8%	18.4%	16.6%
鉄道の割引切符	9.9%	10.6%	7.2%
その他決裁手段(モバイルペイメント等)	未調査	未調査	5.5%
困ったことはなかった	未調査	30.1%	36.6%

<参考>観光による交流人口増加の経済効果

定住人口1人当たりの年間消費額（125万円）は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者9人分、国内旅行者（宿泊）27人分、国内旅行者（日帰り）84人分に当たります。このことから、特に外国人旅行者による交流人口を増加させることが経済活性化に有効な手段となります。



概要
一市は何を
している
の？

成果
一何ができ
たの？

成果指標	2016年度	2017年度	2018年度
「Machida Free Wi-Fi」整備数	7件	3件	0件
外国語マップ作成数	1種類	3種類	1種類

事業費・財源内訳

ー市はどのくらいお金をかけているの？ー

＜外国人観光客等受入推進事業の事業費・財源内訳＞ （単位：千円）

		2016年度	2017年度	2018年度
財源内訳	町田市	3,224	4,641	2,375
	国・東京都	－	－	－
	その他	2,450	2,983	871
事業費総額		5,674	7,624	3,246

＜2018年度の主な事業費＞

- ・外国人観光客受入環境整備補助金（多言語マップ分）2,032千円
- ・町田市公衆無線LAN運用業務委託料 951千円

議論のポイント①

町田市の観光振興の課題について

評価人チームが考える問題点①

- ・町田が目指す観光について、明確に示す必要があるのではないか
- ・観光情報を集約している場所（ぼっぼ町田、情報サイト等）が、十分に周知されていないのではないか
- ・例えば、薬師池公園とリス園を一緒に回することで1日中楽しめるなど、今ある観光資源を活かして、訪問者がより満足できる観光プランを、提案する必要があるのではないか

議論のポイント②

どのようにしたら観光客にとってより効果的な事業になるか

評価人チームが考える問題点②

- ・事業の目的が、現状と合っているか、検証が必要ではないか
- ・観光情報の効果的な発信方法を検討する必要があるのではないか

名称	町田さくらまつり、町田時代祭り
周知手法	町田市HP、観光協会HP、広報、チラシ、ポスター、SNS 他

名称	町田薬師池公園四季彩の杜
周知手法	プロモーションサイト他、町田市HP、観光協会HP、広報、チラシ、ポスター、SNS 他

議論のポイント③

事業成果を測る効果的な評価指標の設定について

評価人チームが考える問題点③

- ・事業の成果をより高めるため、効果的な評価指標を設定する必要があるのではないか

成果指標	2016年度	2017年度	2018年度
観光入込客 ※カッコ内は目標値	501万人 (一万人)	463万人 (515万人)	420万人 (529万人)
薬師池公園四季彩の杜来園者数	659千人	613千人	601千人
町田さくらまつり来場者数 ※カッコ内は目標値	54千人 (一千人)	60千人 (一千人)	117千人 (120千人)

2018年度 課別行政評価シート

部名	経済観光部	課名	観光まちづくり課	歳出目名	観光振興費
			事業類型	c:その他型	

I. 組織概要

組織の使命	市民にとっては地域に愛着を感じ住み続けたいとなるような、来訪者にとっては何度も訪れたいとなるようなまちを実現するため、観光まちづくりを推進します。				
所管する事務	◆観光の振興に関すること。 ◆観光まちづくり基本方針に関すること。 ◆観光に関する調査及び研究に関すること。 ◆町田市観光コンベンション協会との連絡調整に関すること。 ◆町田市小野路宿里山交流館の管理運営に関すること。		◆シティセールスに関すること。 ◆フットパスの振興に関すること。 ◆外国人観光客等の受入れの推進に関すること。		

II. 2017年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆観光入込客数の目標値を達成するため、地域素材の洗い出しや磨き上げ、観光まちづくりの担い手づくりが必要です。 ◆町田薬師池公園四季彩の杜について、新たな来訪者の獲得のため、魅力のある事業の実施や効果的なPRを行う必要があります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆データに基づく観光マーケティングや、広域連携の強化による観光まちづくりを推進します。 ◆ワークショップやシンポジウムを開催し、市民が観光まちづくりへの関心を高める機会を作ります。 ◆町田薬師池公園四季彩の杜については、集客力のある事業の検討を行うとともに、プロモーションサイト及びロゴを作成し、PRを行っていきます。

III. 事業の成果

成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
観光入込客数 (各年1～12月)	万人	目標	-	515	529	542	570	市内の観光地点の観光入込客数(延べ)
		実績	501	463	420		(2021年度)	
薬師池公園四季彩の 杜来園者数	千人	目標	-	-	-	700	1,000	薬師池、フォトサロン、リス園、ダリア園、ぼたん園・えびね苑(有料開園期間)、農具館、ファーマーズセンターの合計人数
		実績	659	613	601		(2022年度)	
町田さくらまつり来場 者数	千人	目標	-	-	120	120	120	恩田川会場・芹ヶ谷公園会場・尾根緑道会場の合計人数
		実績	54	60	117		(2021年度)	
成果の説明	◆町田市観光入込客数等実態調査を行い、観光まちづくり推進委員会において調査結果に基づく施策の検討を行いました。また、南多摩3市(町田市・多摩市・稲城市)観光連携プロジェクトを立ち上げて、3回のガイドウォークツアーの実施や観光マップの作成などを行いました。							
	◆観光まちづくりの担い手育成を目的としたシンポジウムやワークショップを開催しました。							
	◆観光コンベンション協会のSNS等を活用した情報発信を行いました。また、「パラバドミントン国際大会」等の市内のイベントや、「ふるさと祭り東京」等の市外のイベントで観光PR活動を行い、観光プロモーションを推進しました。							
	◆町田薬師池公園四季彩の杜全体のPRをさらに進めるため、プロモーションサイト及びロゴマークを作成しました。							
	◆観光まちづくりリーディングプロジェクトに基づく「さくら」をテーマとした観光まちづくりを進めるため、地域と連携し、町田さくらまつりを実施しました。							

IV. 財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	差額	勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	差額
		A	B	B-A			A	B	B-A
行政費用	人件費	0	0	54,305	54,305	地方税	0	0	0
	うち時間外勤務手当	0	0	4,295	4,295	保険料	0	0	0
	物件費	0	0	31,563	31,563	国庫支出金	0	0	0
	うち委託料	0	0	30,322	30,322	都支支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	2,322	2,322	分担金及負担金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	0	0	0
	補助費等	0	0	54,812	54,812	その他	0	0	1,685
	減価償却費	0	0	11,400	11,400	行政収入 小計(a)	0	0	1,685
	不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	0	△ 163,641
	賞与・退職手当引当金繰入額	0	0	10,924	10,924	金融収支差額(d)	0	0	△ 883
	行政費用 小計(b)	0	0	165,326	165,326	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	0	△ 164,524
	特別費用(g)	0	0	0	0	特別収入 小計(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)					当期収支差額(e)+(h)	0	0	△ 164,524	△ 164,524

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	小野路宿里山交流館指定管理料 20,330千円 町田薬師池公園四季彩の杜ブランドマネジメント推進支援業務委託 4,860千円 町田市観光客数等実態調査業務委託 3,198千円 公衆無線LAN運用業務委託 951千円 など	決算額の主な内訳	観光コンベンション協会補助金 42,000千円 町田さくらまつり負担金 9,000千円 外国人旅行者受入環境整備事業補助金 2,032千円 町田時代祭り補助金 1,000千円 公共トイレ開放協力事業謝礼金 220千円 など
主な増減理由		主な増減理由	
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	区市町村観光インフラ整備支援補助金 871千円 町田さくらまつり負担金剰余分返還金 444千円 国際版画美術館駐車場管理負担金 300千円 小野路宿里山交流館 自動販売機設置場所行政財産貸付料 37千円 など	決算額の主な内訳	特になし
主な増減理由		主な増減理由	

③貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A	勘定科目				2017年度末 A	2018年度末 B	差額 B-A
流動資産	未収金			0	0	0	流動負債			0	15,216	15,216	
	不納欠損引当金			0	0	0	還付未済金			0	0	0	
	その他の流動資産			0	0	0	地方債			0	12,114	12,114	
固定資産	事業用資産	有形固定資産			0	256,881	256,881	賞与引当金			0	3,102	3,102
		土地			0	89,730	89,730	その他の流動負債			0	0	0
		建物(取得価額)			0	224,149	224,149	固定負債			0	130,206	130,206
		建物減価償却累計額			0	△ 56,998	△ 56,998	地方債			0	86,510	86,510
		工作物(取得価額)			0	0	0	退職手当引当金			0	43,696	43,696
		工作物減価償却累計額			0	0	0	その他の固定負債			0	0	0
	インフラ資産	無形固定資産			0	0	0	繰延収益			0	0	0
		有形固定資産			0	0	0	長期前受金			0	0	0
		土地			0	0	0	負債の部合計			0	145,422	145,422
		工作物(取得価額)			0	0	0	純資産			0	113,459	113,459
		工作物減価償却累計額			0	0	0						
		無形固定資産			0	0	0						
	建設仮勘定			0	0	0							
その他の固定資産			0	2,000	2,000	純資産の部合計			0	113,459	113,459		
資産の部合計			0	258,881	258,881	負債及び純資産の部合計			0	258,881	258,881		

④貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	土地(事業用資産)	勘定科目	建物(事業用資産)	勘定科目	その他の固定資産
決算額の主な内訳	小野路宿里山交流館用地 89,730千円	決算額の主な内訳	小野路宿里山交流館建物 224,149千円	決算額の主な内訳	観光コンベンション協会基金出資金 2,000千円
主な増減理由		主な増減理由		主な増減理由	

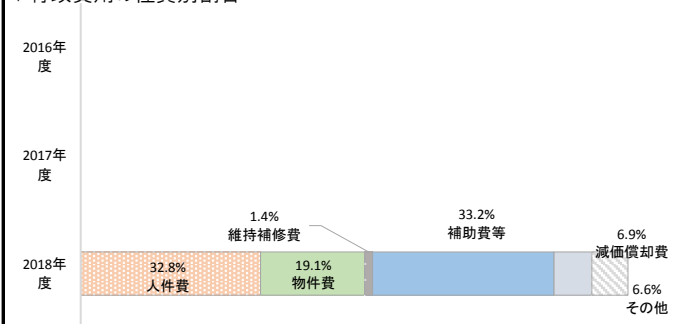
⑤キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	1,685	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	150,275	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	12,016
行政サービス活動収支差額(a)	△ 148,590	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	△ 12,016
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 160,606
				一般財源充当調整額	160,606

V.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



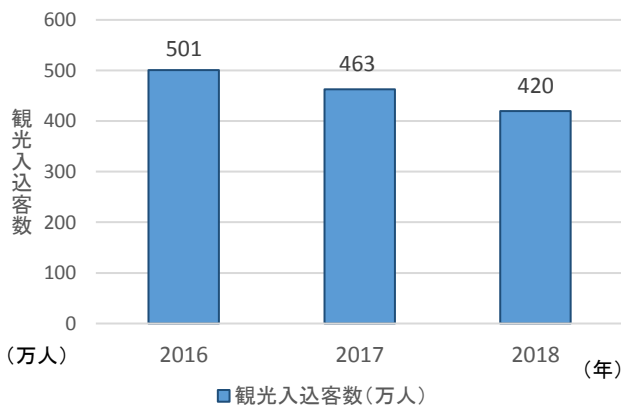
▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	嘱託	臨時	2018 合計	2017 合計
管理事務	2.2				0.5	2.7	0.0
観光事務	3.8				0.2	4.0	0.0
						0.0	0.0
						0.0	0.0
						0.0	0.0
2018年度 歳出目 合計	6.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7	0.0
2017年度 歳出目 合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

VI.個別分析

観光入込客数の推移



VII.総括

①成果および財務の分析

- ◆町田市観光入込客数等実態調査にかかる費用は、3,198千円となりました。観光入込客数や観光消費額などの現状値を把握しました。
- ◆町田薬師池公園四季彩の杜のブランド形成のためのロゴマーク及びプロモーションサイトの作成などにかかる費用は4,860千円となりました。

②2018年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◆観光入込客数等の目標値を達成するため、地域素材の洗い出しや磨き上げ、観光まちづくりの担い手と態勢づくり、地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大が必要です。
- ◆町田薬師池公園四季彩の杜のブランド力を高め、新たな来訪者を獲得するための魅力ある事業の実施や効果的なPRを行う必要があります。

③課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

- ◆地域の資源を活用した新たな体験型ツアーを実施します。
- ◆大学やボランティア団体と連携した事業の実施を通じて、観光まちづくりの担い手と態勢づくりを行います。
- ◆ラグビーワールドカップ2019等の開催を契機とした観光PRを実施します。
- ◆町田薬師池公園四季彩の杜ブランド推進のため、集客力のある魅力的なイベントやロゴマーク及びプロモーションサイトを活用したPR活動を実施します。